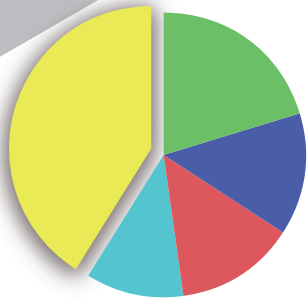




環境がハイリスク

原因

- う蝕経験 (DMFT)
- 関連全身疾患 (服用薬、病歴)

対応方法の例

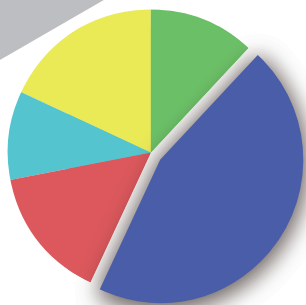
[う蝕経験の把握]

- 改善は難しいので、
これ以上増えないようにする

[関連全身疾患の把握]

(口渇のある薬を服用している場合)

- かかりつけ医に相談
- 変更できるか検討



食事がハイリスク

原因

- 食事内容 (LB菌スコアor食生活アンケート)
- 飲食回数 (間食の回数)

対応方法の例

[食生活指導]

- 飲食頻度の制限
- 食事内容の見直し
- 代用甘味料の活用

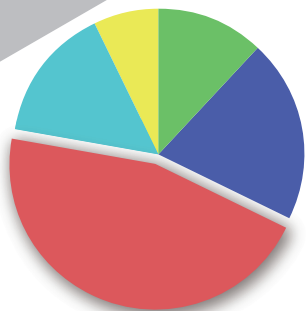
[適切なブラークコントロール]

- リスク部位のブラッシング
- 隣接面清掃

[停滞部位の除去]

- 象牙質う蝕
- 不適合補綴物の処置

[フッ化物塗布]



細菌がハイリスク

原因

- ミュータンス菌スコア
- プラーク量

対応方法の例

[口腔清掃指導]

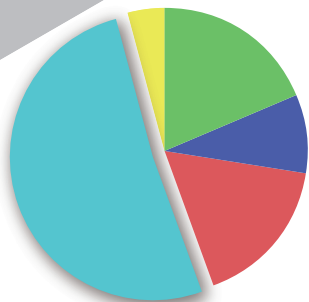
- リスクに合わせた食前・食後のブラッシング
- 隣接面の清掃 ● 舌清掃 ● PMTC

[砂糖の接種方法の見直し]

[キシリトールの使用]

[フッ化第一スズ、クロルヘキシジン、 ハイドロキシアパタイトの使用]

[萌出時期の確認]



感受性がハイリスク

原因

- フッ化物プログラム
- 唾液分泌速度、唾液緩衝能

対応方法の例

[フッ化物の活用 (低濃度・高濃度など)]

[正しい歯磨剤の使用法]

- トゥースペーストテクニク

[咀嚼機能の改善]

[筋機能の発達・回復を促すトレーニング]

[う蝕好発部位の清掃]

- スウェーデン型プラークコントロール

[キシリトールガムの活用]

[食生活指導]

[小児の場合は、口腔内変化をモニタリング]
(15歳前後で唾液腺成熟)